

## 血液内科

### ■ スタッフ

科長	片山 直之
副科長	榎屋 正浩
医師数	常 勤 9名
	併 任 5名
	非常勤 4名

### ■ 診療科の特色・診療対象疾患

#### 1. 治療方針

血液内科では、あらゆる血液疾患に対する診断と治療を行っています。治療方針に関しては、標準治療法はもとより科学的根拠に基づく最新の治療法にいたるまで患者さんと相談し、個々の患者さんの病状に応じた最善の治療を提供できるよう心がけています。また血液疾患の研究を行い、その成果を三重県内外の患者さんに還元できるよう努めています。

当科病棟は、26床中、18床が最新かつ県内最大のクリーンフロアからなり、16床の準無菌治療室および2床の無菌治療室を備えております。さらに11階と病棟としては最上階にあり、各病室から伊勢湾や鈴鹿山系の山々を一望できるなど快適性も備えています。また患者さんが安心して治療に専念できるよう、スタッフ一同協力して患者さんやご家族のサポートを心がけています。

#### 2. 主な診療対象疾患

##### 幹細胞・白血病分野

白血病（急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病）や骨髄不全症候群、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍の診断・治療を行っています。

##### リンパ系腫瘍分野

悪性リンパ腫および多発性骨髄腫を中心とし、原発性アミロイドーシス、その他良性のリンパ増殖性疾患を対象に診療しています。

##### 血栓・止血分野

輸血部、中央検査部、オーダーメイド医療部、他の診療科などのスタッフと定期的にカンファレンスを行い、協力して血栓・止血異常症の診療を行っています。

##### HIV感染症・AIDS

HIV感染症治療においては、中核拠点病院として、多職種で協力して診療を行っています。

### ■ 当科スタッフの取得専門医

日本内科学会専門医・指導医、日本血液学会専門医・指導医、がん薬物療法専門医など

### ■ 診療体制と実績

2015年1月1日から12月31日までの外来初診患者数は354例、入院患者数は116例（のべ入院数191例）でした。入院患者の主な血液疾患の内訳は次の表の通りです。

2015年 血液内科入院患者内訳

病名	新患	合計
悪性リンパ腫	13	30
多発性骨髄腫	3	10
急性骨髄性白血病	6	8
骨髄バンクドナー	8	8
慢性骨髄性白血病	6	7
急性リンパ性白血病	1	5
骨髄異形成症候群	2	4
免疫性血小板減少症	2	4
血縁者間ドナー	4	4
HIV感染症	1	4
骨髄線維症	1	3
血友病	1	2
移植後リンパ増殖性疾患	2	2
慢性リンパ性白血病	0	2
成人T細胞性白血病・リンパ腫	1	1
マクログロブリン血症	0	1
慢性骨髄単球性白血病	1	1
溶血性貧血	1	1
発作性夜間血色素尿症	0	1

## ■ 診療内容の特色と治療実績

・造血器腫瘍、骨髄不全症候群に対する化学療法、分子標的療法、分化誘導療法、抗体療法、免疫抑制療法、放射線治療：

患者さんの病状に応じて、これらの治療法を組み合わせる最適な治療を行います

・白血病やリンパ腫に対するより良い治療を開発するための臨床研究：

日本成人白血病研究グループ (JALSG)、日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) 等に参加して、より良い治療法を開発するために、全国規模の臨床研究を行っています。

・造血器腫瘍および骨髄不全症候群に対する造血幹細胞移植：

骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植のいずれにも対応し、骨髄非破壊の前処置を用いた移植 (ミニ移植) も行っています。2015年の移植件数は、同種移植が12件でした。また名古屋BMTグループ (NBMTG)、日本細胞移植研究会 (JSCT) に参加し、臨床研究を行っています。

・骨髄増殖性腫瘍における遺伝子検査

*JAK2N617F*、*JAK2* exon 12、*CALR*、*MPL*変異解析をオーダーメイド医療部の協力を得て院内で行っています。

・播種性血管内凝固症候群・血栓性血小板減少性紫斑病・特発性血小板減少性紫斑病など血栓・出血性疾患の診断と治療

・血栓性素因 (プロテインC・プロテインS・アンチトロンビン欠乏症・抗リン脂質抗体など) の診断、血栓症予防および治療

・血友病の在宅注射指導と包括医療

小児科・整形外科など他科と連携して、在宅注射の指導を行っています。

いずれの分野の疾患においても、個々の患者様に最善の医療が提供できるように、三重県内全域にわたる関連病院の血液内科と連携をとりながら、診療をおこなっております。

セカンドオピニオン相談も受け付けておりますので、ご希望の場合は、当院の医療福祉支援センターにご連絡の上、セカンドオピニオン相談予約をおとりください。

## ■ 臨床研究等の実績

2015年 臨床研究登録実績

- ・同種造血幹細胞移植サバイバーにおける精神的苦痛の実態と、その心理社会的規定因子に関する検討： 16例
- ・同種造血幹細胞移植後長期生存者における晩期合併症ならびに Quality of Life に関する観察研究： 4例
- ・成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対するインターフェロン  $\alpha$ /ジドブジン併用療法と Watchful Waiting 療法の第 III 相ランダム化比較試験 (JCOG1111)： 2例
- ・血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫 (Intravascular large B-cell lymphoma:IVLBCL) に対する R-CHOP+R-high-dose MTX 療法の第 II 相試験： 2例
- ・イマチニブで分子遺伝学的完全寛解を 2 年間以上維持した慢性期の慢性骨髄性白血病に対する薬剤中止試験 (JALSG-STIM)： 2例
- ・成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植療法を組み込んだ治療法に関する非ランダム化検証的試験 (JCOG0907)： 1例
- ・強度減弱前処置による移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の安全性と有効性の検討： 1例
- ・高齢者または移植拒否若年者の未治療症候性骨髄腫患者に対する Melphalan+prednisolone+
- ・bortezomib (MPB) 導入療法のランダム化第 II 相試験 (JCOG1105)： 1例
- ・MS3-WT1-siTCR ベクターを用いた WT1 抗原特異的 TCR 遺伝子導入リンパ球輸注による急性骨髄性白血病及び骨髄異形成症候群に対する遺伝子治療臨床研究： 1例
- ・播種性血管内凝固 (DIC)、術後、その他の原因による過凝固状態のモニターに関する研究：

100例

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/shinryo/ketsuekinaika/>